

令和5年度

東北医科薬科大学大学院薬学研究科
薬学専攻博士課程

学生募集要項

一般入学試験

(一次募集・二次募集)

社会人入学試験

目 次

- P.1 ディプロマポリシー,カリキュラムポリシー,アドミッションポリシーについて
- P.2 入試日程
- P.2 募集分野
- P.2 出願手続等
- P.4 納付金
- P.4 問合わせ先
- P.5 主な研究テーマ
- P.6 一般入学試験
- P.8 社会人入学試験

【 薬学専攻博士課程 】

薬学専攻は、薬剤師を目指し医療の現場で活躍する人材の養成を主たる目標としている学部6年制「薬学科」の上に、平成24年4月に設置された博士課程（4年制）です。本専攻のディプロマポリシー（学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）、アドミッションポリシー（入学者受入方針）は以下のとおりです。

○ ディプロマポリシー

本学の教育理念に基づく教育課程の講義、研修、演習、課題研究を通して、以下に示す薬学や生命科学を中心とする専門分野における自立した研究者としての能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士学位論文の審査に合格した学生に学位（博士（薬学））を授与します。

1. 薬学・生命科学分野の専門的知識および技能を修得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている。
2. 自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている。
3. 研究者、教育者、薬剤師としての高い倫理観を備えている。
4. 生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことができる。

○ カリキュラムポリシー

本教育課程では、薬学の高度な知識と技術を駆使しながら臨床的課題の探究と解決、その成果の医療への応用を目指しています。これからの高度先進医療のなかで、医療薬学の分野において臨床的課題を見出し研究していくことのできる薬剤師及び研究者を養成します。この目的のため、本課程では、病院での臨床薬学研修（半年間コース又は一年間コース）が必修であることが特徴です。臨床薬学研修では、病棟での医師の診療に同席して疾病の診断と治療の流れを理解し、看護師の活動に同席して患者中心の医療全体を把握し、フィジカルアセスメントを実践し、担当患者に関するカンファレンスに参加するなどの病棟活動プログラムとなっています。研修後には発表会で学習成果のプレゼンテーションを行い、研修結果を論文としてまとめます。この研修成果を活かしながら、より高度な臨床的視点から研究課題を発見し、薬学専門研究へと発展させます。大学での教育・研究と医療現場での研修とを密接に連携させ、教育・研究を効率的に進めていきます。また、希望する研究課題が基礎薬学的な研究と関連する場合は薬科学専攻の協力研究室と連携し、自由にその課題を追究していくことが可能です。

○ アドミッションポリシー

これからの高度先進医療を支え、将来、医療薬学分野での活躍を目指し、研究に意欲のある薬剤師を求めています。薬学部の6年制学科を卒業し薬剤師免許を有している者及び旧課程では薬剤師免許を有し、大学院博士前期課程（修士課程）を修了している者を対象としています。

1. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
一般入学試験 (一次募集)	令和4年7月20日(水) ～ 令和4年7月27日(水)	令和4年8月26日(金)	令和4年9月5日(月)
一般入学試験 (二次募集)	令和5年1月6日(金) ～ 令和5年1月13日(金)	令和5年1月27日(金)	令和5年2月9日(木)
社会人入学試験			

2. 募集分野

専攻科目	・臨床分析化学 ・病態生理学 ・薬物動態学	・環境衛生学 ・生薬学 ・薬剤学	・薬理学 ・放射薬品学 ・臨床感染症学	・機能形態学 ・医薬情報科学 以上 11 研究室
------	-----------------------------	------------------------	---------------------------	------------------------------------

* 募集分野の研究テーマについては、P.5「6. 主な研究テーマ」をご確認ください。

* 微生物学・薬物治療学・臨床薬剤学については、令和5年度の学生受入は行わない。

3. 出願手続等

(1) 出願期間

上記1. 入試日程の通り。

(2) 提出先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課 宛

郵送の場合は、必ず書留郵便とし「薬学専攻博士課程願書在中」と朱書きすること。

【持参の場合】 受付時間は平日午前9時から午後5時15分までとする。

(3) 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

提出書類	一般入学試験	社会人入学試験
① 入学志願票(本大学院所定の用紙)	○	○
② 健康診断書 本学在學生は健康診断証明書。	○	○
③ 卒業(見込)証明書 修士課程を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。	○	○
④ 学部成績証明書 修士課程を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。	○	○
⑤ 入学検定料(35,000円) 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。	○	○
⑥ 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度) 各選考の出願資格(2)に該当する者のみ。(6,7ページ参照)	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)
⑦ これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由) 各選考の出願資格(2)または(3)に該当する者のみ。(6,7ページ参照)	○ (該当者のみ)	○ (該当者のみ)
⑧ 所属長等の受験許可書(形式自由)		○
⑨ 所属長等の推薦書(形式自由)		○
⑩ 本大学院が選考に必要と判断した書類 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。	○ (指示のある場合のみ)	○ (指示のある場合のみ)

(4) 出願上の注意事項

- ① 出願書類の請求は東北医科薬科大学学務部教務課宛に返信用として140円分の切手を同封のうえ、申込むこと。
- ② 出願書類を郵送する場合は受験票を本人宛に郵送するので、返信用として84円分の切手を同封すること。
- ③ 志願者は、希望研究室責任者と必ず事前に相談すること。
- ④ 志願票の志望教室記入欄は、第1、第2希望の研究室まで記入すること。
- ⑤ 募集要項の詳細については東北医科薬科大学学務部教務課まで問い合わせること。

(5) 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載されている個人情報は、大学院入試事務・統計及び学籍情報管理のために使用される。

(6) 長期履修制度

本学の規定により、長期履修制度を申請することが出来る。申請については、学務部教務課へ問い合わせること。

*長期履修制度とは、就業、育児、介護等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを認める制度である。

4. 納付金

令和5年度入学者 納付金一覧表

	博士課程	摘要
入学検定料	35,000円	
入学金	200,000円(100,000円) ^{※1}	入学時のみ納入
授業料	400,000円(200,000円) ^{※2}	年額

※1. 入学金についての()内は、本学学部卒業者の納付額とする。ただし、博士課程の入学金については本学大学院博士課程前期課程(修士課程)修了者は免除する。

※2. 本学に勤務する職員が本学大学院に社会人入学した場合、当該者からの減免願の申請に基づき、授業料の半額を免除する。ただし、減免の期間は、標準修業年限とする。

5. 問い合わせ先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課

TEL:022-234-4181 FAX:022-275-2013

6. 主な研究テーマ

〔研究室名〕 研究室責任者名	研 究 テ ー マ
〔臨床分析化学〕 教授 藤村 務	<ul style="list-style-type: none"> 臨床領域におけるバイオマーカーの探索 マルチオミクス解析を利用したバイオマーカーの探索 ステロイドホルモンの超高感度分析法の開発ならびに体内動態の解析への応用 電気化学センサー（バイオセンサー）の開発
〔環境衛生学〕 教授 黄 基旭	<ul style="list-style-type: none"> 種々の化学物質による毒性発現機構の解析 メチル水銀による炎症応答を介した脳神経傷害機構の解析 異物代謝に影響を及ぼす環境因子の検索と作用機構解析 生体防御に関わる新規因子の検索とその機能解析 生体防御機能亢進作用を有する新しい医薬品の開発
〔薬理学〕 教授 丹野 孝一	<ul style="list-style-type: none"> 脊髄疼痛伝達機構におけるアンジオテンシン系の役割の解明 精神神経疾患動物モデルの作製とその発症機序の解明 生活習慣の乱れに基づく疾患動物モデルの作製とその発症機序の解明 広汎性侵害抑制調節機構（痛みが痛みを抑える機構）の解明
〔機能形態学〕 教授 溝口 広一	<ul style="list-style-type: none"> 副作用の少ない新規強力鎮痛薬の開発 μ オピオイド受容体スプライスバリエントの機能解析 難治性疼痛発現機構の解明 難治性内臓痛の病態解明と治療薬の開発 掻痒のメカニズム解明と特異的治療薬の開発
〔病態生理学〕 教授 高橋 知子	<ul style="list-style-type: none"> 肺組織幹細胞の特性解析とその臨床応用 気管支喘息増悪因子による病態修飾機序の解析と新規治療戦略の開発 心理的ストレス：脳科学と免疫学の橋渡し研究による新たな病態の探求と治療
〔生薬学〕 教授 佐々木 健郎	<ul style="list-style-type: none"> 漢方方剤とその構成生薬の有効成分及び作用機序の解明 モンゴル薬用植物及び東北地方の薬用植物における有用成分の探索と有効利用に関する研究 植物由来の機能性分子を応用した新規保健衛生用品及び医薬品の開発
〔放射薬品学〕 教授 山本 文彦	<ul style="list-style-type: none"> 高分子ミセルを用いた核医学分子イメージング剤および核医学治療剤の開発 低分子リード化合物を用いた新規分子イメージング剤開発と機能評価 生体レドックス動態を反映する分子イメージングプローブの創製 放射線耐性細胞の増殖能獲得メカニズムの解明
〔医薬情報科学〕 教授 渡部 輝明	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品情報のビジュアル化による各種医薬品情報の体系的解析と臨床応用 抗菌薬存在下での耐性菌出現のコンピュータシミュレーションと予測 複数の基本的検査セットを用いた新しいスクリーニング法の開発と臨床応用 (甲状腺機能異常、副腎皮質機能異常、ほか)
〔薬物動態学〕 教授 富田 幹雄	<ul style="list-style-type: none"> 吸収制御因子修飾による低吸収性薬物の消化管吸収の改善 消化管粘膜バリアの機能解析に基づいた潰瘍性大腸炎の根治を可能とするDDS製剤の開発 有機アニオン輸送体OATP4A1の小腸薬物吸収における役割の解明 多糖類輸送におけるトランスポーターの決定的役割に関する研究
〔薬剤学〕 教授 我妻 恭行	<ul style="list-style-type: none"> 痛みの生理の解明とオピオイドの鎮痛作用に関する薬理学的研究 掻痒のメカニズムの解明と抗掻痒薬の薬理学的および製剤学的研究 医薬品の保管状態による成分安定性に関する研究
〔臨床感染症学〕 教授 藤村 茂	<ul style="list-style-type: none"> 難治性の細菌感染症に対する新しい抗菌化学療法の開発 各種細菌に対する新しい殺菌システムの構築 抗菌化学療法における耐性菌出現メカニズムの基礎的・臨床的研究

I 一般入学試験

1. 募集人員 3名

2. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	合格発表日
一次募集	令和4年7月20日(水) ～ 令和4年7月27日(水)	令和4年8月26日(金)	令和4年9月5日(月)
二次募集	令和5年1月6日(金) ～ 令和5年1月13日(金)	令和5年1月27日(金)	令和5年2月9日(木)

3. 出願資格

＜薬剤師免許を有する者または取得見込の者で、かつ次のいずれかに該当する者＞

- (1) 大学（医学、歯学、獣医学又は薬学のうち、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする修業年限6年の学部又は学科に限る。）を卒業した者(令和5年3月卒業見込みの者を含む)
- (2) 修士の学位又は専門職学位を授与された者(令和5年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む)
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和5年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和5年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む)
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者(令和5年3月末までに学位を授与される見込みの者を含む)
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年4月1日時点で24歳に達したもの

※1 (2)～(6)に該当する場合は、事前に学務部教務課まで問い合わせること。

※2 出願資格(7)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和4年6月10日(金)（一次募集）、令和4年12月9日(金)（二次募集）迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書： 本学在学学生は健康診断証明書。
- (3) 卒業(見込)証明書： 修士課程等を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。
- (4) 学部成績証明書： 修士課程等を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。
- (5) 入学検定料(35,000円)： 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度)： 修士論文またはそれに相当するものがある場合のみ
- (7) これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由)： 研究歴を有している者のみ(大学院での研究を含む)
- (8) 本大学院が選考に必要と判断した書類： 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

5. 入学者選考方法

(1) 選考方法

外国語(英語)の筆記試験、小論文および面接を総合判定する。

(2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
(一次募集) 令和4年8月26日(金)	9:00 ~ 10:00	外国語(英語)	東北医科薬科大学 小松島キャンパス (〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1)
	10:30 ~ 12:00	小論文	
(二次募集) 令和5年1月27日(金)	13:00 ~	面接	

6. 奨学金制度、リサーチ・アシスタント制度

日本学生支援機構奨学金、東北医科薬科大学創設者高柳義一奨学金、東北医科薬科大学リサーチ・アシスタント制度に応募することが出来る。

奨学金については学生課、リサーチ・アシスタントについては庶務課へ問い合わせること。

Ⅱ 社会人入学試験

1. 募集人員 若干名

2. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日
令和5年1月6日(金) ～ 令和5年1月13日(金)	令和5年1月27日(金)	令和5年2月9日(木)

3. 出願資格

<薬剤師免許を有する者に限る>

研究機関、企業、病院など同種の業種において1年以上（入学時点）勤務しており、入学後も所属長等の許可を得て、引き続き在職できる者で、かつ次のいずれかの条件を満たしている者

- (1) 大学（医学、歯学、獣医学又は薬学のうち、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とする修業年限6年の学部又は学科に限る。）を卒業した者
- (2) 修士の学位又は専門職学位を授与された者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5年4月1日時点で25歳に達したもの

※1 (2)～(6)に該当する場合は、事前に学務部教務課まで問い合わせること。

※2 出願資格(7)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和4年12月9日(金)迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書
- (3) 卒業(見込)証明書：修士課程等を修了している者は、修了証明書もあわせて提出のこと。
- (4) 学部成績証明書：修士課程等を修了している者は、大学院成績証明書もあわせて提出のこと。
- (5) 入学検定料(35,000円)：出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 修士論文(写し)および論文内容要旨(2,000字程度)：修士論文またはそれに相当するものがある場合のみ
- (7) これまでの研究概要(2,000字程度、形式自由)：研究歴を有している者のみ(大学院での研究を含む)
- (8) 所属長等の受験許可書(形式自由)
- (9) 所属長等の推薦書(形式自由)
- (10) 本大学院が選考に必要と判断した書類：提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

5. 入学者選考方法

(1) 選考方法

小論文および面接を総合判定する。

(2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
令和5年1月27日(金)	10:00 ~ 12:00	小論文	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1
	13:00 ~	面接	